



札幌市立澄川中学校 学校だより



令和7年(2025年)10月14日
第9号(全国学力・学習状況調査報告)
<https://www.sumikawa-j.sapporo-c.ed.jp/>

令和7年度「全国学力・学習状況調査の結果」について

令和7年(2025年)4月15日(火)と17日(木)に、国語・数学・理科に関して全国の中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。その調査結果が文部科学省より公表され、本校でもすでに第3学年の生徒一人一人に個人票を配付しております。このほど、本校においても「教科に関する調査(国語・数学・理科)」の結果分析と改善の方向について、「生徒質問紙の調査のまとめ」ができましたので御報告いたします。作成にあたっては、札幌市教育委員会の指導のもとに行っており、教科に関する調査については具体的な数値の公表は行っておりません。教科に関する調査結果は学校 HP 上に掲載しております。

【生徒質問紙】 本校生徒と全国の生徒との比較を通して

全国平均より上回っている傾向が読み取れる主な項目

△全国平均を上回っている項目(肯定的な回答 本校%、全国平均%の順)

質問事項

- ・朝食を毎日食べていますか(91.8、91.2)
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか(93.5、92.6)
- ・自分には、よいところがあると思いますか(88.9、86.2)
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか(97.7、92.2)
- ・将来の夢や目標を持っていますか(71.4、67.5)
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか(95.3、90.9)
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか(97.7、95.9)
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか(84.8、73.2)
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか(89.4、86.1)
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか(84.8、79.2)
- ・友達関係に満足していますか(95.4、91.4)
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか(92.4、91.6)
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか(84.8、77.5)
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか(88.3、75.3)
- ・1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか(86.5、77.7)
- ・1,2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか(79.0、70.6)
- ・1,2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか(86.6、79.3)
- ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか(93.0、84.7)
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか(83.6、73.4)
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか(83.6、74.8)

- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか(91.2、83.8)
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか(94.7、91.9)
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか(91.8、79.5)
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか(94.1、84.3)
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか(87.1、77.3)
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか(98.2、91.5)
- ・学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(58.5、52.0)

全国平均より下回っている傾向が読み取れる主な項目

▼全国平均を下回っている項目（肯定的な回答 本校%、全国平均%の順）

質 問 事 項
・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか(79.0、81.0)
・人の役に立つ人間になりたいと思いますか(96.5、96.6)
・1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか(60.8、63.0)

○本校生徒の生活実態(%)

平日の家庭学習時間 (塾、家庭教師等を含む)	3時間以上	2~3時間	1~2時間	0.5~1時間	30分未満	しない	
	9.9	28.7	26.3	15.2	11.7	8.2	本校
	9.9	20.9	30.8	19.1	11.3	7.7	全国
休日の家庭学習時間 (塾、家庭教師等を含む)	4時間以上	3~4時間	2~3時間	1~2時間	1時間未満	しない	
	7.0	12.3	19.3	24.0	24.6	12.9	本校
	5.3	8.5	18.7	25.4	24.1	15.4	全国
平日、学習のためにPC、タブレットなどのIC機器を利用する時間	3時間以上	2~3時間	1~2時間	0.5~1時間	30分未満	使わない	
	3.5	4.1	7.6	21.6	38.0	25.1	本校
	2.7	3.2	7.8	17.9	35.9	30.3	全国

基本的な生活習慣や学習習慣が身に付いている生徒が多いことがわかりますが、学習や生活に関する様々な困り感などについては、今後も一層納得・安心につながるようにサポートしていきます。

札幌市では「人間尊重の教育」を基盤とし、「学ぶ力の育成」を大切にしています。澄川中学校でも、「学習活動づくり」、「人間関係づくり」、「環境づくり」を関連させて取り組み、生徒の声を反映した「自治的な活動」「課題探究的な学習」の充実、「自己肯定感」や「自己有用感」の醸成に努めております。今後も、引き続き研修等に努めていき、「心の居場所のある学級、学年、学校」づくり、一人一人の学習状況を丁寧に捉え、「分かる・できる・楽しい授業づくり」の充実を図っていきます。

今回の調査で明らかになった一面を受け止め、今後とも、学校と家庭・地域が一体となって、人間尊重や学ぶことの意義、大切さを伝えていくことが大切と考えております。引き続き御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

本校の概要

【学習指導要領の内容】

■「知識・技能」

(1) 言葉の特徴や使い方

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

■「思考・判断・表現」

(A) 話すこと・聞くこと

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

(B) 書くこと

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

(C) 読むこと

→全国平均より上回っている

【評価の観点】

■「知識・技能」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

■「思考・判断・表現」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

【問題形式】

■「選択式」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

■「短答式」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

■「記述式」

→全国平均とほぼ同程度である

今回の調査における課題

■「知識・技能」

全体的に正答率が高い。しかし、漢字をはじめとする国語的知識や事象、行為を表す語彙の理解に課題がある。

■「思考・判断・表現」

(A) 話すこと・聞くこと

相手の反応を踏まえながら、自分の考えをわかりやすいように表現を工夫することに課題がある。

(B) 書くこと

全国的に見られた無回答率の高さが本校でも見られた。読み手の立場に立って、表記を確かめ、文章を整えることに課題がある。

改善の方向

→漢字をはじめとする国語的知識を活用する機会をもつ。また、語彙を増やすことができるように漢字や語彙の成り立ちに関する日常の言語活動を充実させる。

→聞き手の立場に立って、話す内容を考えられるようにスピーチなどの発表の授業を充実させる。

→自分の文章について改めて考え、粘り強く言葉を磨き上げる姿勢を大切にさせるために推敲の授業を充実させる。

本校の概要

【学習指導要領の領域】

■「A 数と式」

→全国平均より上回っている

■「B 図形」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

■「C 関数」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

■「D データの活用」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

【評価の観点】

■「知識・技能」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

■「思考・判断・表現」

→全国平均より上回っている

【問題形式】

■「選択式」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

■「短答式」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

■「記述式」

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

今回の調査における課題

●「数と式」では、計算問題において、全体的には理解はできているが、文字を用いた式で表すことや説明を苦手とする生徒がいる。

「図形」では、全体的には理解はできているが、証明を振り返り、新たな性質を見いだすことを苦手とする生徒がいる。

「関数」では、全体的には理解はできているが、増加量や変化の割合の意味を理解し、数量の変化を調べることができていない生徒がいる。

「データの活用」では、全体的には理解はできているが、相対度数の意味を理解し、データの特徴を読み取ることが苦手とする生徒がいる。

●「知識・技能」の問題では、文字を用いた式の意味を読み取ることが苦手とする生徒がいる。

「思考・判断・表現」の問題では、事象を数学的に解釈し数学的に説明することを苦手とする生徒がいる。

●「問題の形式」については説明を要する記述式の問題を苦手とする生徒がいる。

改善の方向

○授業で「問題を解決する活動」をより多く取り入れ、自ら進んで発表できるように意識付けをしていく。目的に応じて必要な条件を設定し、数量の関係を数学的に表現できるように指導の充実を図る。理解度が低い生徒に対しては、基礎学力を付けるために、基本を中心に家庭学習を行うような意欲付けを授業の中で意識して行っていく。

○授業の中で、計算問題の演習を多く取り入れること、図形問題の説明、証明を反復練習することにより定着を図っていく。

○数学の楽しさを授業の中で伝えられるよう、教材研究をさらに工夫し、授業と家庭学習（課題）が連続した活動となるように指導していく。

○問題解決の方法を数学的に説明することが苦手な生徒が多いので、授業の中で説明を必要とする問いを意識して行い、生徒に数学的な表現を使いながら説明させていく授業を心がけていく。

今回の調査における課題

- 回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能を身に付けること。
- 元素を記号で表すことに関する知識及び技能を身に付けること。
- 大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定すること。

**改善の方向**

- 電熱線で水を温める実験を行い、温度の上がり方、その際の電流・電圧の様子を観察し、結果をグラフなどで表す。また、グラフから関係性を見出せるよう、グループ活動を取り入れる学習活動の充実。
- 図書館やクロムブックを用いて、元素について調べ、一人一元素をまとめる。それを学級でまとめ、オリジナルの元素図鑑をつくる学習活動の充実。
- 外部の機関などで貸出用として使用できる、地層モデルなどを利用しながら、実際には観察が困難な地層のイメージをつかませる学習活動の充実。